

平成 25 年度 糸魚川市環境基本計画 PDCA 進行管理表 (概要版)

環境を学び、考え、行動する人が育つまち いといがわ
～豊かな自然と心安らぐ環境を目指して～

【分野別基本目標】

- | | | | |
|-----|------|-------------------------|---------|
| (1) | 自然環境 | 『生きものと大地の営みを感じるまち』 | 1～6 頁 |
| (2) | 生活環境 | 『安全・安心、みんなが笑顔で暮らすまち』 | 7～14 頁 |
| (3) | 地球環境 | 『地球にやさしい人が育つまち』 | 15～17 頁 |
| (4) | 環境行動 | 『一人ひとりが行動し、環境保全に取り組むまち』 | 18～22 頁 |

【基本目標 1】 自然環境 『生きものと大地の営みを感じるまち』

《基本事項》

基本となる取組	① 生物・生態系 ～生きものの良好な生息・生育環境を保全します～ 〈生息・生育状況の把握〉〈生態系の保全〉〈保護活動の支援〉	
具体的な取組	・ 市内生物種（動植物）の生息・生育調査・整理	
	平成 22 年度	ほ乳類調査
	平成 23 年度	植物・鳥類調査
	平成 24 年度	昆虫類・は虫類・両生類調査
	平成 25 年度	魚類（淡水魚）・キノコ類調査
	平成 26 年度予定	調査書作成
	<ul style="list-style-type: none"> ・ 在来生物の保護 ・ 野生鳥獣による人や農作物への被害防止 ・ 絶滅が危惧される生きものの保護 ・ 保護活動の支援 	



《平成 25 年度の計画と実績》

平成 25 年度計画	平成 25 年度実績
<input type="checkbox"/> 市内生物種（魚類・キノコ類調査）の生息・生育調査、資料整理 <input type="checkbox"/> 田海ヶ池をモデルケースとした環境保全事業 <input type="checkbox"/> 鳥獣対策（テレメトリー調査、電気柵設置、研修会開催等）	<ul style="list-style-type: none"> ・ 動植物生息状況等資料作成業務委託（魚類（淡水魚）・キノコ類調査） ・ 広報紙 3 月号にて昆虫類の概要紹介 ・ 自然環境整備委託（田海ヶ池トンボを守る会） ・ 琵琶湖博物館中井博士による現地指導 ・ 人工産卵床や釣り・刺網によるブラックバスの駆除 ・ 水辺の生き物調査&ワークショップ in 田海ヶ池 (9/23) ・ ブラックバス釣り大会 (11/2 : 参加者 10 人) ・ テレメトリー調査 (4 回/月程度で観察) ・ 電気柵設置 8 地区 ・ 狩猟免許取得補助 3 件 ・ わな猟技術研修会 (10/27 : 参加者 13 人)

《本年度の評価と次年度への課題等》

本年度の評価	<ul style="list-style-type: none"> ・ 計画どおり生息状況調査を実施した。調査結果をもとに「糸魚川市の昆虫類」について特徴等を広報紙で紹介した。 ・ 在来生物（トンボ）保護のため、ブラックバスの誘導ネットを敷設した新型人工産卵床（15 基）を実証したが、産卵の形跡がなく成果をあげられていない。 ・ 電気柵設置個所内での農作物被害は減少したが、設置箇所周辺で被害が生じており、個体数の増加も懸念される。 ・ 野生鳥獣による人的被害防止に向けた注意喚起を行った。
次年度への課題と見直し	<ul style="list-style-type: none"> ・ 計画通りこれまでの調査結果をまとめた「(仮称) 糸魚川の希少な生きもの」を作成し、環境保全の啓発に努める。 ・ 田海ヶ池においては、外来生物（ブラックバス）の産卵場所を特定するとともに引き続き新型人工産卵床や刺網を実践する。 ・ 野生鳥獣の生息分布に関する情報を収集し、周辺農地（地区）全体での被害防止策を進めるとともに、引き続き人的被害防止に向けた注意喚起に努める。また、適切な個体数管理のため捕獲に努める。

【基本目標 1】 自然環境 『生きものと大地の営みを感じるまち』

《基本事項》

基本となる取組	② 里山・森林 ～里山や山林の多面的機能と景観を保全します～ 〈里山・森林の計画的整備〉〈森林資源の活用〉〈自然と触れ合いの場の整備・創出〉
具体的な取組	<ul style="list-style-type: none"> ・ 林業振興策を含め、森林の整備・保全に向けた総合的な対策を検討 ・ 関係団体等と連携した枝打ち、間伐、下草刈等の促進 ・ 地場産材、間伐材等の森林資源の活用 ・ 自然と触れ合える体験学習の場の整備と各種イベントの実施

《平成 25 年度の計画と実績》

平成 25 年度計画	平成 24 年度実績
<input type="checkbox"/> 地域森林・林業活動支援 森林作業道整備等の支援継続 <input type="checkbox"/> 市民や事業者等と連携した下草刈 等の実施 <input type="checkbox"/> ペレットセミナーの開催 <input type="checkbox"/> ペレットストーブ設置費補助 <input type="checkbox"/> 地場産材利用住宅への支援 <input type="checkbox"/> 自然体験学習教室等の開催 <input type="checkbox"/> 森林公園等の管理	<ul style="list-style-type: none"> ・ 林業事業者が行う保育、間伐、森林作業道整備等への支援 ・ 市有林の間伐等（間伐面積 5.50ha）、作業道の整備 ・ 森林病虫害防除 ・ 企業の森づくり活動への参加 「糸魚川市中条さくらの森づくり」猪又建設㈱ 「麻尾山の森づくり」㈱伊藤建設 ・ 「森の友ゆうクラブ」「長者ヶ原遺跡友の会」等ボランティア団体と連携した里山整備（下草刈等） ・ 木質ペレットセミナー（10/20 参加者 150 名） ・ やさしい森のストーブ体験ツアー（10/26 参加者 17 名） ・ H25 年度補助実績：35 件 ・ 地場産材利用住宅への助成（10 棟） ・ 自然体験教室ほか （42 回、参加者 688 人見込） ・ 森林公園等の適正な管理



《本年度の評価と次年度への課題等》

本年度の評価	<ul style="list-style-type: none"> ・ 小規模な面積の森林所有者が多いことや、森林所有者が不明で調査と同意に時間がかかり、また切捨間伐から利用間伐に移行したことにより作業に時間がかかるため、間伐面積が向上していない。 ・ 木材価格の長期的な低迷により、森林所有者への収益還元ができないため、森林所有者の森林整備に対する意識は依然として低い。 ・ ペレット普及のため、ペレットストーブ・ボイラーの導入促進について関係機関と意見交換を実施した。
次年度への課題と見直し	<ul style="list-style-type: none"> ・ まとまった施業面積が確保できるよう森林所有者の把握を行い、森林簿の精度向上を図る。 ・ 森林の重要性について市民から認識してもらうため、地区懇談会等を通じた啓発活動を行う。 ・ ペレットの導入促進のため、オフセットクレジットの調査研究を行う。

《関連指標》

項目	計画策定時 (H20 年度)	H21 実績	H22 実績	H23 実績	H24 実績	H25 見込	目標 (H26 年度)
森林の間伐実施面積 (ha/年)	151	123	84	85	82	115	178
自然観察会等開催数 (回/年)	30	35	36	36	35	42	35

【基本目標 1】 自然環境 『生きものと大地の営みを感じるまち』

《基本事項》

基本となる取組	③ 地形・地質 ～特徴ある地形・地質を保全します～ 〈特徴ある地形・地質の保全と活用の推進〉
具体的な取組	<ul style="list-style-type: none"> ・特徴ある地形、地質などのジオサイトを環境教育のフィールドとして保全し活用を図る。 ・開発行為による地形の改変に対して、適切な指導を行う。

《平成 25 年度の計画と実績》

平成 25 年度計画	平成 25 年度実績
<input type="checkbox"/> ジオサイトでのジオパーク学習支援（小中学生） <input type="checkbox"/> 体験学習イベントの実施（市内および広域） <input type="checkbox"/> 指導者向けジオツアーの実施 <input type="checkbox"/> 一般向けジオツアー・ガイド養成講座の実施 <input type="checkbox"/> ジオパークカレッジの実施	<ul style="list-style-type: none"> ・小中高等学校におけるジオパーク学習（室内および現地）の支援（41 回、参加者延べ 1,930 人） ・ジオパークを楽しみながら体験できるイベントの実施 まるごと調査隊、まなそぼ～よ、 ・市内および近隣の小中学校教諭を対象とした、ジオパークを活用した体験学習下見ツアーの実施 ・一般市民を対象としたジオツアーとジオパークガイド対象の研修、養成講座の実施 ・糸魚川ジオパーク検定 ・Team Eco Work 活動 8/17 親不知ピアパーク 104 名 ・ジオパークの基礎や地域の活性化等について、専門分野から学習（参加者 20 名）



《本年度の評価と次年度への課題等》

本年度の評価	<ul style="list-style-type: none"> ・ジオパークを活用した現地学習を、市内小中高生だけでなく、一般市民および教諭、広域の子どもを対象として継続実施した。 ・現地学習で活用できるジオパーク学習の副読本が複数完成し、ジオパーク学習が学校教育へ更に浸透した。 ・ジオパーク検定やマスター講座の実施により、ジオパークを通じた自然環境の重要性の認識が高まった。
次年度への課題と見直し	<ul style="list-style-type: none"> ・引き続き、幅広い世代にジオパークの普及啓発活動を行い、地質資源の貴重性の理解と保全（持続可能な利用）意識を醸成する。また、より広く一般市民へ働きかけるよう努める。

【基本目標 1】 自然環境 『生きものと大地の営みを感じるまち』

《基本事項》

基本となる取組	④ 水辺・海辺 ～人と自然にやさしい水辺環境を保全します～ (親水空間の整備・活用) (水辺の生きものの生息・生育環境の保全) (保全意識の向上・啓発) (海岸漂着物による危険性の排除)
具体的な取組	<ul style="list-style-type: none"> ・ 親水空間を整備、活用し、水辺での自然体験活動の充実を図る。 ・ 水生生物の生息、生育の場の確保 ・ 姫川クリーン作戦等市民との協働による清掃活動の実施 ・ 不法投棄防止の啓発と監視体制の強化 ・ 海岸漂着物による危険性の排除

《平成 24 年度の計画と実績》

平成 25 年度計画	平成 25 年度実績
<input type="checkbox"/> かわまちづくり計画 <input type="checkbox"/> 自然体験活動 <input type="checkbox"/> 「須沢水芭蕉群生地」の維持管理 <input type="checkbox"/> 姫川クリーン作戦や地元ボランティアによる河川草刈りの実施  <input type="checkbox"/> 環境美化パートナー事業 <input type="checkbox"/> 環境パトロールの実施、不法投棄防止の啓発	<ul style="list-style-type: none"> ・ 国土交通省との協働による姫川河川敷周辺環境整備 <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 10px 0;"> <p>【基本目標 1 ②里山・森林】再掲</p> </div> <ul style="list-style-type: none"> ・ 市指定「須沢水芭蕉群生地」の適正管理 ・ 姫川クリーン作戦：106 人参加 (7/12) ・ 市民との協働による海岸清掃活動等 糸魚川、大和川海岸(ふるさとの海をきれいにする会) 青海地域一斉海岸清掃 能生地域(徳合、筒石、藤崎、百川、西浜町、 浜木浦、鬼伏) 児童手づくりの「のぼり」を作成(磯部小学校) サーファーによる海岸清掃(4～11月第3日曜日) 地元による河川草刈り ・ 環境パトロールによる不法投棄監視、抑止 2人1組、週4日のパトロール 不法投棄箇所等のデータ整理、展開調査 ・ 不法投棄防止の啓発

《本年度の評価と次年度への課題等》

本年度の評価	<ul style="list-style-type: none"> ・ パトロール体制を強化し、不法投棄の監視を行うことで抑止強化に努めた。 ・ 自主的な清掃活動が実施され、その支援を行った。
次年度への課題と見直し	<ul style="list-style-type: none"> ・ 不法投棄の根絶に向け、環境パトロールを継続して実施するとともに、広く活動を紹介し抑止の強化を図る。 ・ 自主的な環境美化活動の取り組みを積極的に支援するとともに、その活動を市民に紹介し、市民意識の向上を促す。 ・ 環境美化パートナー事業の導入

《関連指標》

項目	計画策定時 (H20 年度)	H21 実績	H22 実績	H23 実績	H24 実績	H25 見込	目標 (H26 年度)
姫川クリーン作戦参加者数 (人/年)	122	113	106	未実施	104	106	200
市民から見た海や海岸のきれいさに関する満足度 (%)	54.7	—	—	—	—	—	65

【基本目標 1】 自然環境 『生きものと大地の営みを感じるまち』

《基本事項》

基本となる取組	⑤ 農地 ～豊かな農地を保全します～ 〈農地の保全〉〈資源循環型農業の推進〉〈農業集落地域の整備・活性化〉
具体的な取組	<ul style="list-style-type: none"> ・ 農業生産活動の維持、耕作放棄地の拡大防止 ・ 保水など農地の持つ多面的機能の確保 ・ 環境にやさしい農業の支援、指導 ・ 地場産消費の拡大と安定供給が可能な生産体制の構築 ・ ほ場、農道、かんがい排水等の整備

《平成 25 年度の計画と実績》

平成 25 年度計画	平成 25 年度実績
<input type="checkbox"/> 中山間地域等農業振興事業 <input type="checkbox"/> エコライス栽培該当農家・面積の拡大、指導・確認の推進 <input type="checkbox"/> 温湯消毒種子の供給体制の整備 <input type="checkbox"/> 学校給食供給拡大と米粉供給を支援	<ul style="list-style-type: none"> ・ 中山間地域の農地保全と多面的機能の増進のための支援 ・ コシヒカリ B L エコライス栽培の実践推進 H25 年産全域での実施 ・ エコファーマーの認定の推進 ・ 特別栽培米の栽培指導 (16 戸 23.91 ha 実施) ・ 湯温消毒種子の供給体制整備 J A ひすい H26 年産供給種子分実施 ・ 環境保全型農業支援事業 (16 名 6,192 a) 学校給食食材供給支援 (じゃがいも、玉ねぎ) ・ 米粉パン供給 (小中学校 21 校 40,876 食) ・ 米粉めん供給 (小中学校 21 校 18,054 食) ・ 米粉供給 (小中学校、幼稚園・保育園 390kg)

《本年度の評価と次年度への課題等》

本年度の評価	<ul style="list-style-type: none"> ・ 農家組合を通じた呼びかけにより、環境保全型農業の認定者が増加したが、エコファーマーの認定者は減少した。 ・ エコライス栽培において、天候不順等により品質の低下がみられた。 ・ 学校給食食材供給事業において、じゃがいもの供給量が減少したが、玉ねぎは増加することができた。 ・ 米粉パン・めん供給を全小中学校で取り組むことができた。
次年度への課題と見直し	<ul style="list-style-type: none"> ・ 農家への環境保全型農業直接支援事業の普及と合わせ、エコファーマーの認定者増に努める。 ・ エコライス栽培の天候に左右されない栽培の指導実践の推進に努める。 ・ 学校給食食材供給事業の農産物供給量が減少しているため、まとまった量の生産が可能な生産者の確保が必要である。 ・ 米粉パン・めん供給は全小中学校に普及したため終了とし、米粉供給を実施していく。

《関連指標》

項目	計画策定時 (H20 年度)	H21 実績	H22 実績	H23 実績	H24 実績	H25 見込	目標 (H26 年度)
エコファーマー認定累計数 (人)	92	107	110	110	117	92	132

【基本目標 1】 自然環境 『生きものと大地の営みを感じるまち』

《基本事項》

基本となる取組	⑥ 自然景観 ～良好な自然景観を保全します～ 〈自然景観の保全〉〈自然公園の保全・活用〉
具体的な取組	<ul style="list-style-type: none"> ・特徴的な景観を失うことのないよう保全策を講じる。 ・優れた自然景観を市内外に紹介し、地域の豊かな自然への愛着と地域の活性化を図る。

《平成 25 年度の計画と実績》

平成 25 年度計画	平成 25 年度実績
<input type="checkbox"/> 県自然環境保護員との情報交換 <input type="checkbox"/> ジオパークと連携した自然への愛着と地域活性化	<ul style="list-style-type: none"> ・自然環境保護員 3 名 報告書の内容を確認 <div style="border: 1px solid black; padding: 2px; display: inline-block; margin-top: 10px;"> 【基本目標 1 ③地形・地質】再掲 </div>

《本年度の評価と次年度への課題等》

本年度の評価	<ul style="list-style-type: none"> ・無秩序な開発等により特徴的な景観を失うことのないよう、開発の相談、申請時に指導等を行った。
次年度への課題と見直し	<ul style="list-style-type: none"> ・国立公園や県立自然公園内の情報を収集し、その保全に努める。 ・引き続き、幅広い世代にジオパークの普及啓発活動を行い、地質資源の貴重性の理解と保全（持続可能な利用）意識を醸成する。また、より広く一般市民へ働きかけるよう努める。

【基本目標 2】生活環境 『安全・安心、みんなが笑顔で暮らすまち』

《基本事項》

基本となる取組	① 大気 ～良好な大気環境を維持します～ 〈大気環境の監視体制の強化〉〈大気汚染対策の推進〉
具体的な取組	<ul style="list-style-type: none"> ・光化学スモッグ注意報の発令時における迅速な情報提供 ・大気環境の監視体制の強化 ・公害防止協定締結の推進 ・野焼きの禁止についての周知、指導

《平成 25 年度の計画と実績》

平成 25 年度計画	平成 25 年度実績
□要綱に基づいた迅速な情報提供(光化学スモッグ緊急時対策措置要綱)	<ul style="list-style-type: none"> ・情報伝達訓練(4/23)、庁内伝達系統の確認 ・注意喚起(「広報おしらせばん(4/10号)」)
□糸魚川・ぬな川公園測定局、微小粒子状物質(PM2.5)のデータ確認	<ul style="list-style-type: none"> ・大気測定局のデータ確認、分析委託、公表 ・微小粒子状物質(PM2.5)のデータ確認 ・微小粒子状物質(PM2.5)情報伝達訓練(11/29)
□福島第一原子力発電所事故に伴う放射線測定結果の公表	<ul style="list-style-type: none"> ・放射線測定結果の公表(広報おしらせばん、HP) ・幼保育園・小中学校の空間線量測定 ・市内空間線量測定(38ヶ所) ・上水汚泥処理に関する測定 ・土壌中の放射性物質検査(10ヶ所)
□公害防止協定締結の推進	<ul style="list-style-type: none"> ・H25年度なし(H25年度現在計17社)
□基準を満たさない焼却炉の使用や野焼きの禁止について注意喚起	<ul style="list-style-type: none"> ・野焼き禁止に関する注意喚起(「広報おしらせばん」)

《本年度の評価と次年度への課題等》

本年度の評価	<ul style="list-style-type: none"> ・平成 25 年度測定における光化学オキシダントの測定データにおいて、環境基準を達成できていない時間がある。 ・微小粒子状物質(PM2.5)の注意喚起を実施した(2/26) ・福島第一原子力発電所事故に関する要望に対応できるよう、市独自測定を実施した。 ・野焼きに対する苦情は現在のところない。
次年度への課題と見直し	<ul style="list-style-type: none"> ・光化学スモッグ注意報の発令時や微小粒子状物質(PM2.5)の注意喚起実施時に備え、対応方法を整理する。 ・放射線測定において、きめ細かな測定及び結果の公表を継続する。 ・広報紙等を通じた野焼きの禁止についての注意喚起を実施

《関連指標》

項目	計画策定時(H20年度)	H21実績	H22実績	H23実績	H24実績	H25見込	目標(H26年度)
野焼き(悪臭)苦情指導(件/年)	10	2	3	3	3	0	0

《基本事項》

基本となる取組	② 水 ～水環境の汚染を防止します～ 〈水環境の保全と資源の確保〉〈事業系排水対策の推進〉〈生活排水対策の推進〉
具体的な取組	<ul style="list-style-type: none"> ・ 水源周辺の汚染防止 ・ 水環境の保全意識の向上 ・ 地下水の涵養に努め、井戸使用の状況把握 ・ 水洗化の促進と市設置型合併処理浄化槽の普及促進 ・ 家庭や事業所等からの油流出事故防止

《平成 25 年度の計画と実績》

平成 25 年度計画	平成 25 年度実績
<input type="checkbox"/> 水質調査及び測定結果の公表 <input type="checkbox"/> 福島第一原子力発電所事故に伴う放射線測定結果の公表 <input type="checkbox"/> 水洗化促進の広報活動 <input type="checkbox"/> 水洗化促進調査委託(未接続家庭への戸別訪問による状況把握) <input type="checkbox"/> 市設置型合併浄化槽設置 <input type="checkbox"/> 油（灯油）流出注意喚起	<ul style="list-style-type: none"> ・ 水質調査委託 ・ 「糸魚川市の環境」発行 ・ 水道水及び下水道汚泥の放射能調査（県）結果を公表 ・ 下水道キャンペーン（10/13 来場者 821 人） ・ 未接続家庭への戸別訪問による状況把握 訪問件数 479 件 ※大和川、下早川、西海、歌、外波地区 ・ 市設置型合併浄化槽設置 41 基 ・ 広報紙、広報無線による注意喚起 12 月以降

《本年度の評価と次年度への課題等》

本年度の評価	<ul style="list-style-type: none"> ・ 全ての河川及び海水浴場について BOD の基準値及び AA 判定を達成した。 ・ 未接続家庭への戸別訪問により水洗化が図られた。 公共下水道区域内排水設備工事 26 件、浄化槽整備区域内排水設備工事 3 件 ・ 家庭用ホームタンクからの灯油流出事故が発生している。
次年度への課題と見直し	<ul style="list-style-type: none"> ・ 水質調査の結果を随時公開することで見える化を図るとともに、保全意識の啓発を促進する。 ・ 未接続家庭への戸別訪問を継続し、状況を把握するとともに接続の依頼を行う。 ・ 家庭用ホームタンクからの灯油流出事故対策の注意啓発に重点をおき、広報に努める。

《関連指標》

項目	計画策定時 (H20 年度)	H21 実績	H22 実績	H23 実績	H24 実績	H25 見込	目標 (H26 年度)
河川水質 (BOD) 環境基準達成率 (%)	100	100	100	100	100	100	100
海水浴場水質判定 AA 率 (%)	100	100	100	100	100	100	100
汚水処理普及率 (%)	95.9 (90.4)	96.9 (91.4)	98.2 (92.4)	98.2 (93.1)	99.3 (93.6)	99.3 (93.6)	r 100.0 (95.0)
水洗化率 (%)	92.6	92.8	92.9	92.9	94.0	94.3	95.0

《基本事項》

基本となる取組	③ 騒音・振動 ～騒音や振動によるストレスやトラブルの軽減を図ります～ 〈自動車・鉄道騒音、振動対策の推進〉〈事業活動騒音・振動対策の推進〉 〈生活騒音・振動対策の推進〉
具体的な取組	・騒音調査の実施 ・高速道路設置管理者への対策要望 ・法律等に基づき、適正に指導、規制を行う。

《平成 24 年度の計画と実績》

平成 25 年度計画	平成 25 年度実績
□騒音及び振動測定、交通量調査	・自動車交通騒音調査(8～10月 市内 26 か所) 国道 8 号沿線 9 地点、一般地域 2 地点、 北陸自動車道沿線 15 地点 ・振動調査、交通量調査(10月) 国道 8 号沿線 1 か所
□新潟県高速道路交通公害対策協議会を通じた管理者への対策等の申入	・関係機関に対する対策の申入 国道管理者 11 月 高速道路管理者 11 月

《本年度の評価と次年度への課題等》

本年度の評価	・騒音環境基準目標を達成 環境基準未達成の地点が減少するよう監視を継続する。
次年度への課題と見直し	・施設管理者に対し、騒音・振動の低減のための対策を講じるよう要望を行う。 ・北陸新幹線開業前の騒音測定及び開業後の監視体制の確立に向け、関係機関との調整を行う。

《関連指標》

項目	計画策定時 (H20 年度)	H21 実績	H22 実績	H23 実績	H24 実績	H25 見込	目標 (H26 年度)
騒音環境基準達成率 (%)	67	78	89	88	86	89	r 90

《基本事項》

基本となる取組	④ 悪臭 ～不快な悪臭環境の減少を図ります～ 〈悪臭防止対策の推進〉
具体的な取組	<ul style="list-style-type: none"> ・ 事業活動から生ずる悪臭発生抑制 ・ 生活排水等から生ずる悪臭の低減

《平成 25 年度の計画と実績》

平成 25 年度計画	平成 25 年度実績
□ 公共下水道への接続や合併処理浄化槽の設置促進	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; display: inline-block;"> 【基本目標 2 ②水】再掲 </div>

《本年度の評価と次年度への課題等》

本年度の評価	<ul style="list-style-type: none"> ・ 未接続家庭への戸別訪問により水洗化が図られた。 公共下水道区域内排水設備工事 26 件 浄化槽整備区域内排水設備工事 3 件
次年度への課題と見直し	<ul style="list-style-type: none"> ・ 未接続家庭への戸別訪問を継続し、状況を把握するとともに接続の依頼をする。

《基本事項》

基本となる取組	⑤ 土壌・地盤 ～安全な土壌・地盤環境を確保します～ 〈土壌・地下水汚染の防止〉〈地下水枯渇の防止〉〈農薬の適正使用の推進〉
具体的な取組	<ul style="list-style-type: none"> ・ 汚染が認められた場合の、県と連携した迅速な対策 ・ 事業場などにおける地下水の使用状況の把握 ・ 農薬の適正使用についての啓発

《平成 25 年度の計画と実績》

平成 25 年度計画	平成 25 年度実績
<input type="checkbox"/> 関係機関と連携した対応 <input type="checkbox"/> 各農業団体や振興協議会を通じた啓発	・ 事案発生時の関係機関との連携及び周知 H25 年度発生(通報)件数：13 件 <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; display: inline-block;"> 【基本目標 1 ⑤農地】再掲 </div>

《本年度の評価と次年度への課題等》

本年度の評価	<ul style="list-style-type: none"> ・ 油漏れ等汚染が認められた際には、県と連携した迅速な対応を講じた。 ・ 農薬、化学肥料の使用を抑えた農業を推進した。
次年度への課題と見直し	<ul style="list-style-type: none"> ・ 事案発生時の関係機関との連携体制の強化に努める。 ・ 農家への環境保全型農業直接支援事業の普及と合わせ、エコファーマーの認定者増に努める。

《基本事項》

基本となる取組	⑥ 廃棄物・循環型社会 ～ごみの減量と適正処理を行い、循環型社会の構築を推進します～ 〈ごみ減量化と適正処理の推進〉〈不法投棄の防止〉
具体的な取組	<ul style="list-style-type: none"> ・ごみの減量化と適正処理の推進 ・ごみ有料化に向けた検討 ・イベントごみ排出抑制と適正処理の強化 ・不法投棄の防止

《平成 25 年度の計画と実績》

平成 25 年度計画	平成 25 年度実績
<input type="checkbox"/> 広報紙・ホームページ・出前講座等による啓発  <input type="checkbox"/> ごみの有料化に向けた検討 <input type="checkbox"/> 環境パトロールの実施 <input type="checkbox"/> 不法投棄ボランティア監視員による監視活動	<ul style="list-style-type: none"> ・啓発活動 広報紙「もったいないの心を大切に」他掲載 環境フェア（11/2） 電動生ごみ処理機器の展示 イベントごみ箱の設置 ごみ分別出前講座（11回 参加者 377人） 学校における牛乳パックリサイクルの推進 木浦小学校、上早川小学校、糸魚川東小学校 ・減量化に向けた検討 生ごみ処理機購入助成 コンポスト等 101台 電動生ごみ処理機 158台 <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; text-align: center;"> 【基本目標 1 ④水辺・海辺】再掲 </div>

《本年度の評価と次年度への課題等》

本年度の評価	<ul style="list-style-type: none"> ・ごみ処理量が減少しており、1人1日当たりごみ排出量（g）も減少している。 ・「燃やせるごみ」に占める「紙、布類」の割合が4割強を占め、その削減が最重要課題となっている。
次年度への課題と見直し	<ul style="list-style-type: none"> ・更なるごみの減量化に向け、分別・リサイクル方法の見直しを行う。 燃やせないごみ：一部資源化 ・ごみ発生抑制の取り組みを実施する。 ・ごみの排出量増加の検証を行い、施策の方向を決定する。

《関連指標》

項目	計画策定時 (H20 年度)	H21 実績	H22 実績	H23 実績	H24 実績	H25 見込	目標 (H26 年度)
市民1人1日当たりごみ排出量（g）	1,018	1,007	1,012	1,007	1,022	1,000	1,006 (890)
リサイクル率（炭化物を除く）（%）	18.7	20.3	18.8	18.8	22.9	20.0	r 24.0 (19.3)

《基本事項》

基本となる取組	⑦ 公園・緑地 ～身近に触れ合える緑を増やし、活用します～ 〈公園整備と市街地緑化の推進〉〈緑化意識の向上・啓発〉
具体的な取組	<ul style="list-style-type: none"> ・街路樹等や公園における剪定や除草など適正管理 ・市街地の緑化推進 ・花いっぱい運動の推進

《平成 25 年度の計画と実績》

平成 25 年度計画	平成 25 年度実績
<input type="checkbox"/> 街路樹等や公園における剪定や除草など適正管理 <input type="checkbox"/> 花いっぱい運動の推進 	<ul style="list-style-type: none"> ・街路樹や公園の管理 ・花いっぱい運動 花苗、球根等を会員に配布 花いっぱいフェアの開催（6/8 来場者 400 人） ・地域ボランティアによる植栽活動

《本年度の評価と次年度への課題等》

本年度の評価	<ul style="list-style-type: none"> ・地域や市民団体に花の苗や球根を提供するなど、「花いっぱい運動」推進のための支援を行った。 ・緑化意識の向上の観点からの対策も必要と考える。
次年度への課題と見直し	<ul style="list-style-type: none"> ・花苗だけではなく樹木等の提供も検討し、「地球温暖化対策実行計画」と絡めて緑化を推進する。

《基本事項》

基本となる取組	⑧ 歴史的・文化的資源 ～史跡・天然記念物などの地域資源を保全し、活用します～ 〈郷土の歴史や文化に対する意識の向上〉〈地域の食材や郷土料理の伝承と活用〉
具体的な取組	<ul style="list-style-type: none"> ・ 史跡や指定文化財巡りなど、郷土を学ぶ機会の提供 ・ 郷土に伝わる伝統文化を継承し、その支援と活用を図る。 ・ 地域の食材や郷土料理の継承を図る。

《平成 25 年度の計画と実績》

平成 25 年度計画	平成 25 年度実績
<input type="checkbox"/> 文化講演会・歴史講座の開催 <input type="checkbox"/> 指定文化財の保存事業に対する支援 <input type="checkbox"/> 伝統芸能・年中行事等の周知 <input type="checkbox"/> 学校給食における地場農産物・水産物の消費拡大	<ul style="list-style-type: none"> ・ 文化講演会(11/9 参加者 70 名) 演題「真言密教から見た山寺の文化財と宗教風土」 ・ 糸魚川ジオパーク歴史講座 (6 回、参加者 320 名) ・ 白山神社拝殿屋根修繕、山口家住宅管理等 ・ 糸魚川の諸職の記録映像の制作 能生西飛山の菅笠づくり <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; text-align: center; margin: 10px 0;"> 【基本目標 1 ⑤農地】再掲 </div> <ul style="list-style-type: none"> ・ 上越漁業協同組合による学校給食における地場産水産加工品の供給

《本年度の評価と次年度への課題等》

本年度の評価	<ul style="list-style-type: none"> ・ 計画どおり事業を実施し、講演会や歴史講座も好評をいただいた。
次年度への課題と見直し	<ul style="list-style-type: none"> ・ 魅力あるテーマを設け引き続き文化講演会を実施し、郷土を学ぶ機会を提供する。 ・ 文化講演会や歴史講座を事前周知して、より多くの方へ学習機会を提供する。 ・ 引き続き、保存が必要な伝統芸能等を記録映像として保存する。

【基本目標 3】地球環境 『地球環境にやさしい人が育つまち』

《基本事項》

基本となる取組	① 資源・エネルギー ～省エネルギー・新エネルギー施策を推進します～ 〈省エネルギー・省資源化の推進〉〈新エネルギーの利活用の推進〉
具体的な取組	<ul style="list-style-type: none"> ・省エネ行動、省エネ機器の情報提供 ・環境マネジメントシステム取得事業所の増加促進 ・支援制度や導入メリット等の情報提供及び公共施設への設備導入促進 ・住宅用新エネルギー（太陽光発電・太陽熱利用温水器）導入支援

《平成 25 年度の計画と実績》

平成 25 年度計画	平成 25 年度実績
<input type="checkbox"/> 広報紙、ホームページ等による省エネ行動等の啓発	<ul style="list-style-type: none"> ・ 広報での節電の啓発 ・ 糸魚川グリーンカーテンプロジェクト サポーター登録 62 人 緑のカーテン講習会（5/17 参加者 30 人）
<input type="checkbox"/> エコアクション 21 合同普及セミナーの開催	<ul style="list-style-type: none"> ・ エコアクション 21 合同普及セミナー（8/23）
<input type="checkbox"/> 支援制度の周知、公共施設への導入	<ul style="list-style-type: none"> ・ 事業系ごみ持ち込み対象業者への啓発（約 500 社へ発送） ・ うちエコ診断、省エネ診断の周知（広報紙 8 月号）
<input type="checkbox"/> 住宅用新エネルギー設備設置費補助	<ul style="list-style-type: none"> ・ H25 年度補助実績：22 件
<input type="checkbox"/> ペレットストーブ設置費補助	<ul style="list-style-type: none"> ・ H25 年度補助実績：35 件
<input type="checkbox"/> 新エネルギーセミナーの開催	<ul style="list-style-type: none"> ・ 木質ペレットセミナー（10/20 参加者 150 人）
<input type="checkbox"/> 新エネルギービジョンの策定	<ul style="list-style-type: none"> ・ 新エネルギービジョンの審議（3 回）

《本年度の評価と次年度への課題等》

本年度の評価	<ul style="list-style-type: none"> ・ 「節電」の取組を通して、省エネ行動とその効果に対する意識づけが推進された。
次年度への課題と見直し	<ul style="list-style-type: none"> ・ 電力不足に対する節電の取組としてに留まらず、継続的な省エネルギー対策につながるよう引き続き情報提供と意識向上に努めるとともにグリーンカーテンプロジェクトを推進する。 ・ 再生可能エネルギー固定買取制度の動向等情報の収集に努め、支援制度や導入メリット等の情報を提供する。 ・ 公共施設の新築及び大規模改修時においては省エネ設備の導入を検討する。

《関連指標》

項目	計画策定時 (H20 年度)	H21 実績	H22 実績	H23 実績	H24 実績	H25 見込	目標 (H26 年度)
環境マネジメントシステム 認証取得累計事業所数	r 17	r 18	r 18	19	19	19	20
新エネルギー利用公共施設 数（累計）	4	7	15	16	20	20	r 25
住宅用太陽光発電設備設置 補助箇所数（累計）	35	46	56	70	86	108	100

【基本目標 3】地球環境 『地球環境にやさしい人が育つまち』

《基本事項》

基本となる取組	② 地球温暖化 ～温室効果ガスの排出抑制を推進します～ 〈地球温暖化防止の啓発〉〈地球温暖化対策の実施・推進〉 〈環境に配慮した自動車利用の促進〉
具体的な取組	<ul style="list-style-type: none"> ・市の行政事務・事業における温室効果ガスの削減 ・「糸魚川市地球温暖化対策実行計画（区域施策編）」の策定 ・エコドライブの普及 ・庁用車への低公害車の導入及び事業者や市民への低公害車選択の促進

《平成 25 年度の計画と実績》

平成 25 年度計画	平成 25 年度実績
<input type="checkbox"/> 市の行政事務・事業における温室効果ガス削減の行動管理 <input type="checkbox"/> 糸魚川市地球温暖化対策実行計画（区域施策編）の策定 <input type="checkbox"/> 庁用車の更新 	<ul style="list-style-type: none"> ・市庁舎における省資源化、実績の把握と公表 平成 24 年度の総排出量（実績）：15,857 (t-CO2) ・糸魚川市地球温暖化対策実行計画（区域施策編）の審議（2 回） ・庁用車の更新 2 台 平成 17 年排出ガス規制基準値☆☆ 2 台 ・環境フェア（11/2 来場者 550 人） 改造電気自動車試乗会

《本年度の評価と次年度への課題等》

本年度の評価	<ul style="list-style-type: none"> ・庁用車更新基準により、計画的にエコカーへの更新を図ることができた。 ・電気自動車を直接体験する機会を設け、その啓発につなげることができた。
次年度への課題と見直し	<ul style="list-style-type: none"> ・自動車利用の面からの地球温暖化防止対策の啓発を促進するため、電気自動車やプラグインハイブリット車等の情報提供に努めるとともに、庁用車として電気自動車を導入する。 ・低公害車の選択を促すため、充電インフラの整備を推進する。

《関連指標》

項目	計画策定時 (H20 年度)	H21 実績	H22 実績	H23 実績	H24 実績	H25 見込	目標 (H26 年度)
国道 8 号間脇～梶屋敷間最大渋滞長 (m)	2,950	2,950	最大 100	r 解消	解消	解消	r 解消
市保有低公害・低燃費車所有率 (除く特殊車両) (%)	15	22.3	24.5	29.5	30.5	32.6	r 35

《基本事項》

基本となる取組	③ オゾン層の破壊・酸性雨 ～フロン類の適正処理や有害化学物質の低減を図ります～ 〈フロン類回収の徹底〉〈酸性雨対策の推進〉
具体的な取組	・法に基づき、適正処理についての啓発 ・事業所との公害防止協定の締結や市民生活における化石燃料の使用抑制などの啓発

《平成 25 年度の計画と実績》

平成 25 年度計画	平成 25 年度実績
□ 広報紙・ホームページ等による啓発	・不法投棄防止の啓発と監視体制の強化
□ よりよい生活環境を目指した環境保全協定締結の推進	・H25 年度なし（H25 年度現在計 17 社） ・家庭における省エネルギー、省資源行動の啓発

《本年度の評価と次年度への課題等》

本年度の評価	・パトロール体制を強化し、不法投棄の監視を行うことで抑止強化に努めた。 ・「節電」の取組を通して、省エネ行動とその効果に対する意識づけが推進された。
次年度への課題と見直し	・不法投棄の根絶に向け、環境パトロールを継続して実施（2 人 1 組週 4 日）するとともに、広く活動を紹介し抑止の強化を図る。 ・電力不足に対する節電の取組としてに留まらず、継続的な省エネルギー対策につながるよう引き続き情報提供と意識向上に努める。

【基本目標4】環境行動 『一人ひとりが行動し、環境保全に取り組むまち』

《基本事項》

基本となる取組	① 環境学習 ～自然をいかした環境学習を推進します～ 〈学習機会の創出〉〈学校等における環境教育の充実〉
具体的な取組	<ul style="list-style-type: none"> ・ 出前講座の充実、環境関連施設への見学実施 ・ 環境フェアなど啓発イベントの開催 ・ 総合学習等での体験による環境教育の推進 ・ 「子どもエコクラブ」「緑の少年団」などへの活動拡大 ・ 環境教育研修会の開催検討



《平成 25 年度の計画と実績》

平成 25 年度計画	平成 25 年度実績
<input type="checkbox"/> 区、地区公民館と連携した出前講座 <input type="checkbox"/> 関連施設の見学会実施 <input type="checkbox"/> 環境フェア開催 <input type="checkbox"/> 新エネルギーセミナーの開催 <input type="checkbox"/> 総合学習等での体験による環境教育の推進 <input type="checkbox"/> こどもエコクラブ、緑の少年団活動支援 <input type="checkbox"/> ふるさと糸魚川研修の実施（基礎・現地・実践研修）	<ul style="list-style-type: none"> ・ 環境関連出前講座（11回 参加者 377人） ・ 清掃センター施設見学（14回 参加者 280人） ・ 環境フェア（11/3 来場者 550人） 省エネ機器の情報提供、電気自動車試乗会等 ・ 木質ペレットセミナー（10/20 参加者 150名） ・ ふるさと糸魚川学習支援事業 総合学習等での地域の自然環境に関わる体験活動支援 糸魚川ジオパーク学習交流会（11/20） 小学校9校、中学校1校、高等学校1校 ・ ふるさと水と土保全対策事業 ・ 緑の少年団活動支援（1,200円/団員1人） ・ 緑の少年団交流集会（8/2） ・ 教職員資質・指導力向上事業 ジオパーク現地研修、ジオパーク実践研修

《本年度の評価と次年度への課題等》

本年度の評価	・ より多くの地域から参加できるよう、環境フェアを青海地域で開催した。
次年度への課題と見直し	<ul style="list-style-type: none"> ・ 環境学習推進のため環境フェアの実施を継続するとともに、学習機会の充実を図る（能生地域開催予定）。 ・ 一貫教育の趣旨とも絡めながら、ジオパーク学習や市の環境保全について児童生徒の学習活動を一層進めていく。

《関連指標》

項目	計画策定時 (H20年度)	H21 実績	H22 実績	H23 実績	H24 実績	H25 見込	目標 (H26年度)
環境学習会開催数（回/年）	2	2	2	3	2	3	10
こどもエコクラブ参加校数 (校)	1	0	0	0	0	0	4

【基本目標 4】 環境行動 『一人ひとりが行動し、環境保全に取り組むまち』

《基本事項》

基本となる取組	② 意識啓発 ～情報提供と啓発による環境保全を推進します～ 〈環境情報の収集・提供〉〈糸魚川市の環境の周知〉 〈糸魚川市生活環境保全条例の制定〉
具体的な取組	<ul style="list-style-type: none"> ・ 地域、団体等による環境学習、環境行動に関する情報の発信 ・ 自然（観察）解説書の作成 ・ 糸魚川市の環境の現状や問題点などの情報提供 ・ 環境フェアや環境セミナー、自然観察会など各種イベントの開催 ・ 環境基本計画の進捗状況等を周知 ・ 生活環境の保全のための条例制定

《平成 25 年度の計画と実績》

平成 25 年度計画	平成 25 年度実績
<input type="checkbox"/> 広報紙・ホームページ等による啓発 <input type="checkbox"/> 自然解説書作成に向けたデータ収集及びデータの整理 <input type="checkbox"/> 環境フェアの開催 <input type="checkbox"/> 糸魚川市の環境（環境測定データ集）の発行	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-bottom: 10px;">【基本目標 1 ①生物・生態系】再掲</div> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px;">【基本目標 4 ①環境学習】再掲</div>

《本年度の評価と次年度への課題等》

本年度の評価	<ul style="list-style-type: none"> ・ 田海ヶ池をモデルケースとした環境保全事業の取り組みを広報紙等を通じて発信した。 ・ 生息状況調査を実施し、調査結果をもとに「糸魚川市の昆虫類」について特徴等を広報紙で紹介した。
次年度への課題と見直し	<ul style="list-style-type: none"> ・ 計画通りこれまでの調査結果をまとめた「(仮称) 糸魚川の希少な生きもの」を作成し、環境保全の啓発に努める。

【基本目標 4】 環境行動 『一人ひとりが行動し、環境保全に取り組むまち』

《基本事項》

基本となる取組	③ 人材等の育成 ～環境学習のリーダーの活動を支援します～ 〈リーダーの把握・育成と活用〉
具体的な取組	<ul style="list-style-type: none"> ・ 環境カウンセラーや各環境分野の専門家、市民団体等の把握と活用 ・ リーダー育成のための研修会等の開催情報の提供 ・ 自然観察など環境学習をサポートするボランティア活動の支援

《平成 25 年度の計画と実績》

平成 25 年度計画	平成 25 年度実績
<input type="checkbox"/> 環境分野の専門家、市民団体等の把握と活用制度の構築 <input type="checkbox"/> 研修会等の開催情報の提供	<ul style="list-style-type: none"> ・ 情報収集 ・ 自然観察会、環境学習会等の情報提供 (「広報おしらせばん 6/25 号」)

《本年度の評価と次年度への課題等》

本年度の評価	・ 人材活用のための制度構築に至っていない
次年度への課題と見直し	・ 環境カウンセラーや各環境分野の専門家、市民団体等を把握し、その活用に向けた制度の構築

【基本目標 4】環境行動 『一人ひとりが行動し、環境保全に取り組むまち』

《基本事項》

基本となる取組	④ ジオパークの活用 ～ジオパークと連携して環境保全に努めます～ (ジオパークと連携した環境保全の推進)
具体的な取組	<ul style="list-style-type: none"> ・ジオパークを積極的に活用した環境のまちを目指す。 ・自主的な保護意識の向上と地域振興の重要性を促す。

《平成 25 年度の計画と実績》

平成 25 年度計画	平成 25 年度実績
<input type="checkbox"/> 市民のジオパーク活動への参加を通じて、自主的な保護意識の向上を促す。 <input type="checkbox"/> ジオサイトに解説板等を整備 <input type="checkbox"/> ジオパークガイドブック作成 <input type="checkbox"/> ジオパーク簡易パンフレット作成	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; display: inline-block;"> 【基本目標 1 ③地形・地質】再掲 </div>

《本年度の評価と次年度への課題等》

本年度の評価	<ul style="list-style-type: none"> ・ジオパークを活用した現地学習を、市内小中高校生だけでなく、一般市民および教諭、広域の子どもを対象として継続実施した。 ・現地学習で活用できるジオパーク学習の副読本が複数完成し、ジオパーク学習が学校教育へ更に浸透した。 ・ジオパーク検定やマスター講座の実施により、ジオパークを通じた自然環境の重要性の認識が高まった。
次年度への課題と見直し	<ul style="list-style-type: none"> ・引き続き、幅広い世代にジオパークの普及啓発活動を行い、地質資源の貴重性の理解と保全（持続可能な利用）意識を醸成する。また、より広く一般市民へ働きかけるよう努める。

《関連指標》

項目	計画策定時 (H20 年度)	H21 実績	H22 実績	H23 実績	H24 実績	H25 見込	目標 (H26 年度)
ジオパークガイド登録者数 (累計)	—	19	35	38	39	41	r 45

